プリンセス 小公女セーラ

第31話

『屋根裏の怪事件』

AR台本

企画
制作
日本アニメーション株式会社

プ リ ン セ ス

小 公 女 セ ー ラ

第三十一話 『屋根裏の怪事件』

登場人物

セーラ……………島本須美
ミンチン……………中西妙子
アメリア……………梨羽由記子
モーリー……………向殿あさみ
ジェームス……………郷里大輔
ピーター……………坂本千夏
ベッキー……………鈴木みえ

ラムダス……………

子供達……………

シーザー（猫）………

ハリジャン（猿）………

カメラ	画面		音声
1	朝　ベッドの柵に背をもたせかけているエミリー		S・E（テーブル等を動かす音）
2	テーブルの上にのり　椅子をもちあげているセーラ 椅子に昇り天窓の枠に手をかけ鍵をガチャガチャと開ける		S・E（ガチャガチャ）
3	セーラ　窓あけて　顔を出す 勢良く首をのばして隣りの方を見る		
4	隣りの家の窓を見るセーラ 屋根の上に雀が啼く		S・E（チュンチュン）
5	じっと見つめていたが　大きな吐息をはいて力なくうつむいていく　つぶやくように言う		セーラ「フーッ……お隣りには、屋根裏に住むような人は……いないのかも知れない……」
6	雀　舞いおりて来て啼く		

	がっくりとしていたセーラ　顔を上げる　雀を見て苦笑して右手を引っこめて――（ポケットに入っている餌をとり出すのでしょう）引っこめた手を出してパラパラとパン屑を屋根の上にバラ散く　舞いおりてくる雀 餌をついばむ雀		セーラ　「御免なさい……雀さん……」
7	餌をついばむ雀		
8	にこにこと見つめているセーラ 隣りの方を見る　ガッカリした表情のセーラ		セーラ　「はあー！」
9	隣りを見て手をのばし窓を静かにしめる		
10	ベッドの上のテーブルでトーストをとり口にして食べるミンチン　気取って食事している		
11	傍のテーブルで紅茶を入れる		

	セーラ		
12	セーラ　紅茶をつぎ終り　ポットを置き　ミンチンの方へ行く ミンチン　セーラを見		ミンチン「セーラ」 セーラ「はい」
13	ミンチン　セーラを見て カップを受け取り		ミンチン「隣りの鉄柵に較べて、うちの鉄柵はサビが眼立ちます、ペンキを塗っておくように……」 セーラ「はい、院長先生」
14	満足そうに応暢にうなづくミンチン　きどった手付　紅茶を飲む		ミンチン「うん!!」
15	ミンチン女学院（表） 鉄柵にペンキを塗るセーラ たどたどしい手つき		
16	手許がおぼつかないが懸命にペンキを塗っているセーラ		

17	塗るセーラの手　たどたどしい 手付きである		
18	汗を流して塗っているセーラ		
19	ペンキ入れにハケを入れ ペンキをつけ		
20	立ち上り　又　塗る		
21	玄関　開き　アメリア出て来る あたりを見渡し　セーラを見て		アメリア「……セーラさん」
22	アメリアに顔を向けるセーラ		アメリア「それが終ったら、私の外出用の、ス カートにアイロン掛けといてね」
23	セーラ　返事する		セーラ　「はい、アメリア先生」
24	地下の作業場 スカートに白布がかけられる		
25	白布を覆い終り傍のアイロンを 取り　アイロンをかけ始める		

	セーラ		
26	アイロンをかけるセーラの手		
27	汗を流しているセーラ		セーラ「ハア、ハア、ハア……」
27	ドアを開けて洗濯物を抱えて入って来るモーリー		モーリー「さあ……掛けるものは…… 〜 まだまだ沢山あるからね」
28	モーリー　机の上の一杯の洗濯物を置く セーラ　扉の方を見る		セーラ「はい、モーリーさん」 ジェームス(off)「おい、セーラ！」 セーラ「はーい！」
29	ジェームス　入口に立って モーリー　扉の扉へ向う すぐ仕事にかかるセーラ		ジェームス「そいつが終ったら買い出しがあるんだぞ」 セーラ「はい、ジェームスさん」
	A・C		
30	アイロンをかけるセーラ		
31	出て行くモーリー　ジェームス		

32	使用人出入口から買物籠を提げてセーラ出て来る　ドアをしめ階段を上る　馬車が通っていく		S・E（馬車の音）〜〜〜〜〜
33	上って来るセーラ 隣の家の方を見る		
34	隣家　表 馬車から御者下りて来て　扉をあける　看護婦おりて振り返り側にひかえる		
35	見つめるセーラ		
36	医者が下りてくる		
37	玄関口の方へ向う医者　看護婦		
38	見つめるセーラ		セーラⓂ「また、お医者さまがお見えになったんだわ」
39	隣家　玄関口　ターバンの老従僕　ドア開け丁重に礼をする		

	中に消える医師たち		
40	セーラ 見上げる		セーラⓂ「お隣りの御主人、よほどご病気が、 お悪いのかしら……」 S・E(off)(ガチャ)
41	隣家の出窓　T・U カーテンが引かれている		
42	セーラ　心配そうに見つめて 歩き出す		セーラⓂ「早く良くなって下さるといいのに…」
43	セーラ　買物への道を歩く 散水車のうしろに来て		
44	遊ぶ子供達　FOLLOW→		子供達　「ガヤガヤ(ADLIB)」
45	遊ぶ子供達　FOLLOW→		〜〜〜
46	水を浴びて散水車を追う子供達 奥にコンベントガーデンのにぎわいが見える		

47	ゴミ屑をほうきが集めていく		
48	ほうきを使うピーター 仕事しながら聞いている		セーラ　「それに……お医者様は毎日のように 見えているし、お部屋のカーテンは引 かれたままなの……」
49	掃く手止めてセーラを見るピー ター 又　掃き出すピーター		ピーター「うへぇ……それじゃ引越して来たお 隣りさんって……相当な重病人じゃな いですか……」
50	うなずくセーラ		セーラ　「だから……心配なのよ……」
51	ゴミを掃き続けるピーター T・U うなだれていくセーラ		セーラ　「……奥様やお子さんの姿も見えない し……きっと、ひとりぼっちで苦しん でいらっしゃるんだわ…… ～ ……そう思うと私……インドで……ひ とりぼっちで亡くなった、お父様が想 い出されて……」
52	振り返り（ゆっくり）淋しい表 情のセーラ うなだれていく		
53	掃く手 - 止り――		

	振り返るピーター 「?!」となる		
54	セーラの後姿　T・B		ピーター「お嬢さん」
55	セーラ「はっ」と気づきピーターに振り向く		セーラ　「ごめんなさい……」
56	無理に笑顔を作り　手前へ来乍ら		セーラ　「そういう訳でね、ピーター、私が期待してたみたいに、誰かがお隣りの屋根裏部屋に上って来て、私の部屋に手を振ったり、大声で話しかけて来て、お友達になってくれる…… 〜 なんて夢は、残念乍ら、当て外れだったのよ、フフフフ……」
57	ピーター　手前に来る つられて微笑するピーター		ピーター「やれやれ……ベッキーもまだ帰って来ないし、お嬢さんもひとりぼっちじゃ淋しいですよねぇ」
58	セーラ　にっこりとして		セーラ　「大丈夫……！　ピーターがいるわ！」
59	ピーター　びっくりして大喜び		ピーター「えッ、ウッソォー、いやその、ヒヤ

	する		ア参った参った、へへへへー」
60	微笑しているセーラ		〜〜〜
61	道　買物籠のＵＰ ＦＯＬＬＯＷ→		
62	ミンチン女学院前の広場 セーラ　奥へ進む		
63	セーラ「は」と気づき立止る		
64	ベッキー　オドオドとミンチン 女学院を見ている		
65	セーラ ベッキーの方へ駆けて行く		セーラ　「ベッキーだわ！」
66	セーラ　ベッキーの方へ走る		
67	ベッキーの背后に駆け寄るセー ラ		セーラ　「ベッキー！」

68	ベッキーびっくりしてとび上る		ベッキー「うわ〜〜ッ、びっくりした！」
	A・C		
69	ベッキーふりむき　セーラに気づき		ベッキー「ひゃあ、お嬢様じゃございませんか、おなつかしゅうございます！」
70	セーラ　ベッキーを見つめて言う		セーラ「なに言ってるのよ、ベッキー、頂いた夏休みは、まだまだ先まである筈でしょ」
71	ベッキー　言いにくそうに　ベッキーうつむいてためらうように言う		ベッキー「はい……それはそうなんですけど……実は、お母さんが、そろそろロンドンへ帰って働いておくれって……」
72	ベッキー手前へ来る （つけPAN←）		セーラ「えッ……」 ベッキー「お母さんは、口には出しませんでしたけど、私、判っているんです……私が田舎にいると、お給料は入って来ないし」
73	ベッキー　セーラから視線をはずして		ベッキー「反対に私が食べる分、お金が余分にかかるし、ほんとはお母さん困っていたんです。だから」

74	ベッキー　うなだれる セーラ　ベッキーに近寄り		ベッキー「私……」 セーラ「そうだったの……だったら手紙で、帰ることを報せてくれればよかったのに…… 〜
75	セーラ　ベッキーにたずねる ベッキーふりむき ベッキー　ニッコリして話しだす と　ひたいに手をやる		いつロンドンへ着いたの?」 ベッキー「はい、先刻、キングクロスの駅に着いて、それからトコトコ、ここ迄歩いて来たもんですから、もう汗びっしょりで……」
76	セーラ　あきれて		セーラ「まあ……それなら早く中へ入ればいいのに」
77	ベッキーうなだれていく		ベッキー「そ、それが……」
78	セーラ　心配気に一歩近づき ベッキー　セーラの方から顔をそらし 再びセーラの方を見て		セーラ「どうしたの?」 ベッキー「私、思い出したんです……院長先生が、私にお休みを下さったのは、夏休みで生徒さんたちが帰って、仕事は、お嬢さん一人で済むようになったからだって……それを早めに戻ってきたら……」

79	ベッキー　セーラにまじまじと告げる ベッキーうつむき		ベッキー「また、余計な食費がかかるって、院長先生に叱られるに決ってます。それが恐ろしくて、足がすくんじまったんです」
80	セーラ　ベッキーを見つめて		セーラ「まあ……」
81	ベッキー　セーラの方を振り向き　上目使いで		ベッキー「それで、お嬢様が用事で出て来て下さりはしないかと、ここでお待ちしてたんです」
82	セーラ　明るく言う		セーラ「判ったわベッキー……院長先生には私からもお話しするわ」
83	セーラ　近寄り　ベッキーをうながして セーラ　歩き出す続くベッキー		セーラ「さ、入りましょう」 ベッキー「はい、お嬢様……」
84	ミンチン女学院　表 二人　使用人階段　立ち止まる ベッキー　具合悪そうに見上げる		

85	やさしくベッキーの肩に手を回すセーラ　微笑して淋しそうに頷き　二人　歩き出す		セーラ「心配しないで……ベッキー」
86	建物の中へ入って行く		
87	形相を変えて　身を乗り出すモーリー		モーリー「何んだって……院長先生のお許しもないのに……こんなに早く戻って来ちまったんだよ！」〜（こぼし）
88	すまなそうにうなだれていくベッキーを横に　立つセーラ　口唇をかんで見つめるセーラ		
89	モーリー　セーラ　ベッキーをしかりつけている　ジェームス入ってくる		ジェームス「一体、お前の食い分は、どこから出せるってんだよ」
90	ベッキー　うなだれる　セーラ　のり出し		ベッキー「す、すみません……」 セーラ「あのォ、食べ物の事でしたら、私の分を二人で頂く事にします、ベッキーをお願いします」

91	顔を見合せるモーリー　ジェームス　モーリー顔を戻しセーラ達を見て 顔を見合せて笑い合い　二人前に出る	モーリー「フン、そんな勝手な理屈が院長先生に通用するかどうか、当ってみるんだね」 ジェームス「フフフ……また雷が落ちるだろうぜ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ」〜〜〜
	A・C	
92	笑い乍ら二人の前を通って行く二人（out）うつむいているベッキー　T・U 顔を見合せるセーラ　ベッキー ベッキー　心配そうな顔　セーラ明るくうながす 心細そうにうなづくベッキー	S・E（扉の開閉音） ベッキー「お嬢様……」 セーラ「大丈夫よ、さ、行きましょう！」
93	廊下——出入口の前に置かれているカバン	ミンチン(off)「なんですって！……食べものを…」
94	ミンチン　びっくりして言う	ミンチン「二人で分けてでもいいから、働かせて欲しいですって?!」
95	セーラ　ミンチンに頼む	セーラ「はい、院長先生。ですから早めに帰

		った事でベッキーを叱らないで下さい」
96	顔を見合せるミンチン　アメリア　ミンチン顔を戻し ミンチン　ニコニコと恩着せがましく	ミンチン「よろしい。ベッキーがそれ程、働きたいと云うのなら許す事にしましょう ……勿論、食事は今迄通り食べさせます」
97	ベッキー　思わずニッコリ	ベッキー「えッ」
98	ミンチン　きっぱりと言う	ミンチン「但し今月の給料は無し、食費は来月の給料から引きますから、そのつもりで」
99	はっとなるが悲しそうにうつむくベッキー　口唇をかみベッキーを見るセーラ	
100	ミンチンを見て　つぶやくアメリア	アメリア「……お姉さま……！」
101	ミンチン　二人に立ち去るようにうながす	ミンチン「さ、行ってよろしい」 セーラ「はい、院長先生……」

	ふりむき手前へFr・outする二人		
102	同　廊下　ドア開き出て来る セーラ　ベッキー		
103	くるりと振り返り喜色を満面に 浮べるベッキー　セーラの両手 を握りしめ　じっと見つめるベ ッキーの目がうるんでいく――		ベッキー「ありがとう御座います、お嬢様…！」
104	見つめるセーラ		
105	ベッキー　うれしそうに話す		ベッキー「ほんと言うと、私、なによりも、お 嬢様の傍に帰って戻れた事だけで、ど んなに嬉しいか知れないんでございま す……」
106	セーラ　ベッキーの肩をやさし く撫でて――		セーラ「私もよ、ベッキー、――さ、台所で 待っているわ。荷物を置いて来て」
107	明るい顔でうなづくベッキー 階段の方へ		ベッキー「はい、お嬢様……」

108	階段を上って行くベッキー 見送るセーラ		
109	微笑で見送るセーラ 地下室の方へ向うセーラ		
110	階段をうれしそうに登るベッキ ーFOLLOW↗		
111	地下室へ降りて行くセーラ		
112	三階　廊下　眠っているシーザ ー　ベッキー上って来る		ベッキー「シーザー、ただいま!」
113	シーザー　知らん顔で寝ている		
114	ベッキー　シーザーを見て ニコニコして		ベッキー「まあ、シーザーったら」
115	ベッキー　チョンとシーザーの 鼻先きを指でおす シーザー　くしゃみ		シーザー「クシャン」 ベッキー「フ、フ……」

116	屋根裏部屋への階段 ドア開く　ベッキー上って来る		
117	屋根裏　ベッキー上って来て 自分の部屋の方へ		S・E（階段を上るベッキーの音）
118	扉――開いて　部屋に入って来 るベッキー		
119	扉をしめ　ほっとして扉により かかるベッキー やおら手前に来て椅子にトラン クを置く		ベッキー「フ――」 S・E（ギーッ、ギーッ）
120	ギョッとなって　おき上るベッ キー		〜〜〜〜〜
121	イスの上のトランク　ベッキー の足許におちる		
122	ひろうベッキー びっくりして引っくり返る　椅		S・E（ギーイ!!） ベッキー「うわ〜〜」 〜

	子もたおれる		
123	飛んだ燭台　ドアに当たる		〜〜〜
124	倒れているベッキー　囲りを見る		
125	キョロキョロしながら起き上る ベッキー 恐怖に身をちぢめる　扉の方へ 這う		S・E（ギーッ!!　ギーッ!!） ベッキー「ウウウ……」 S・E（キーッ!!）
126	這うベッキー		〜〜〜
127	手がのびて　取手をつかむ 起き上ってくるベッキー　扉を あけていく　↓PAN・D 立ち上る　足が燭台を踏む		ベッキー「ウウウウ……」
128	前へたおれこむベッキー		ベッキー「ひー!!」
129	開いた扉から外へ身を投げ出す ベッキー		ベッキー「ひゃぁ〜〜」

130	倒れこむベッキー　頭をかかえるが　這って手前にくる		ベッキー「ギエーッ」
131	ドア開き　とび出して来るベッキー（三Fの廊下）		
132	寝ていたシーザー　頭を上げキョトンとする シーザー　下を見る		S・E　（ベッキーの足音、手前から奥へ）
133	台所　ジャガイモの皮をむいているセーラ		
134	息をきらせ　とびこんで来るベッキー　息が荒いベッキー		ベッキー「ハァ、ハァ、ハァ……」
135	ベッキー　セーラの所へ駈けこみ　ハア、ハア ベッキー　真剣にセーラにたずねる セーラ　思わず聞き返す		セーラ　「どうしたの、ベッキー」 ベッキー「ハァ、ハァ、お、お嬢様！　……屋根裏に奇妙な声が……休み中に変ったことが……」 セーラ　「変った事？」
136	セーラ　思い出したように		セーラ　「あ、そうだわ、あなたにお話するの

			を忘れてたわ。実はね、空家だったお隣りに、インドから帰って来た方が引越して来たのよ」
137	ベッキー　ビックリして顔を上げる		ベッキー「それ……その人たちが化物だ……」
138	セーラ　キョトンとして		セーラ　「化物？」
139	ベッキー　興奮しながら話す		ベッキー「いま、屋根裏部屋へ荷物を置きに戻りましたら、隣りから恐ろしい叫び声が聞えたんでございます」
140	セーラもびっくりして		セーラ　「叫び声ですって！」
141	ベッキー　説明しようとしてオーバーに真似する		ベッキー「はい、つまり、その——ギャア〜〜」
142	セーラ　あきれたようにベッキーをたしなめて　ベッキー　手を下ろし　説明する		セーラ　「ベッキー！」 ベッキー「いえ、こんな声じゃありませんでした」

143	ベッキー　真顔で説明する		ベッキー「とにかく人間とは思われない声が聞えて、私、恐ろしくて思わず部屋を飛び出して……」
144	セーラ　身をのり出して		セーラ　「行ってみましょう！」
145	ベッキー　おどろく		ベッキー「えっ」
146	セーラ　ベッキーをうながして ベッキー急いでセーラの方へ寄り　しがみつき押し留める ベッキー　真剣にセーラを止める		セーラ　「屋根裏部屋へよ」 ベッキー「だめ……だめです！」 ベッキー「やめて……やめて下さい!!」
147	ベッキー　必死の形相である		ベッキー「お嬢様！」
148	唖然としているセーラ T・U		

〈Aパート・おわり〉

149	屋根の壁――手が現れ　おそるおそるベッキーが顔を出し覗きささやく	ベッキー「……お嬢さま……」
150	ベッキーの部屋の前で振り返る セーラ　にっこりとしてノブに手をかけ開ける 部屋の中をオソル、オソル覗く セーラ――部屋の中へと入る	
151	のり出し見つめるベッキー―― 息をのむ	ベッキー「はー」
152	見回しているセーラ　床に落ちている帽子とカバン―― 歩いてその方へ行く　椅子をおこし　カバンと帽子を椅子の上にのせる　ベッキーがのぞく （オソルオソル）	ベッキー「……お嬢様!!」
153	振り返るセーラ　にっこりとベッキーを見る　手前に来て首を左右に振る	セーラ「フフッ」 「私の部屋の窓から見てみましょう」

	コックリとうなづくベッキー		
154	出て来るセーラ　扉をしめて セーラの部屋に向うベッキー セーラ（途中セーラとベッキー 顔を見合せる）		
155	セーラの部屋　扉がひらいて セーラ　部屋の中を見て振り返 りベッキーを見る―― 中を窺り見ていたベッキー　安 心して笑う　セーラ入って来る		ベッキー「フフフッ」
156	セーラ　入って来て止り天窓を 見上げる　続いてベッキーも入 って来る		
157	窓を見上げている二人―― 顔を見合せてうなづき合い　机 の方へFr・outする		
158A	ベッドの上のエミリー		S・E（椅子、机をうごかす音）

158B	セーラ　ベッキーをうながすように　ベッキー　遠慮気味に言う セーラ　机に上り　更に椅子の上に上る	セーラ「さ、ベッキーあなたも上れるわ」 ベッキー「えッ……わ、私は御遠慮しますです」 セーラ「平気よ、ベッキー、さ、どうぞ」
159	見上げるベッキー　うながされ手前へ来て	セーラ(off)「さ、早く、ベッキー」
160	ベッキーも机に上り　椅子に上る	
161	裏屋根の上　天窓開き　顔を見せるセーラ　ベッキー	
162	見廻す二人 セーラ　?!となる　T・U	セーラ「ん?!」
163	隣家の屋根裏部屋　窓があいている　T・U	
164	セーラ　ベッキー　ニッコリして見る	セーラ「まあ……あのお部屋に人が入ったんだわ」

165	隣家の窓		S・E（奇妙な声）
166	ベッキー　セーラにしがみつき震える セーラ　抱きかかえベッキーを見つめる　ベッキーから隣りの方を見るセーラ　はっとなりベッキーを抱きかかえながら窺い見る　オソルオソルのぞき見る ベッキー		ベッキー「……お嬢様……!!……あれ……! あの声です!」 セーラ「え……?!」 セーラ「……なにか見えるわ……」
167	隣家の窓　猿の手が宙をつかむように現われて引っこむ T・U　一瞬　形の明確でない姿が躍び上りFr・in－outしていく		S・E（ギーギー）〜〜〜
170	ギョッとなり　二人顔を見合せる　急いで二人　隣りを見る		S・E（キー、キー、キー）
171	部屋の中で影が激しく行き交う		S・E（キーキッーキッー）
172	窺き見つめる二人　目をパチク		S・E（キーキ〜ガチャン、ドダー!）

	りしている		
173	一瞬　静かになる隣りの家の窓飛び出してくる猿　キャッキャッといいながらベランダをうろついて手すりを昇り　止り FOLLOW PAN　キョロキョロする――首に環がつけられ　くさりがたれている		猿「キャッキャッ」
174	目をパチクリして見つめる二人		
175	猿　キョロキョロと眺めていたが　二人の方に気づき見る		猿「キーッ〜キーッ！」
176	猿を見つめている二人		
177	驚くセーラ　ベッキー 二人　顔を見合せてうなづく		セーラ「まあ！……猿！」 ベッキー「で、では……あの叫び声は、あのお猿……」
178	二人の方へ一歩二歩と近づき啼く　振り返る猿		声 (off)（ラムダス）「ハリジャン！ ハリジャン！」

179	腰ベルトのラムダスの後に入って止る		猿（ハリジャン）「キーッ!!」
180	にこにこと見つめていたが　ベランダに出るラムダス 手を差し出す　ぽンと差し出した手に乗るハリジャン		ラムダス「ハリジャン!!」
181	セーラ　ラムダスに気づいてニッコリして ベッキーおどろいてセーラを見て		セーラ　「まあ……ラムダスさんだわ」 ベッキー「えッ、ごぞんじなんですか」 セーラ　「まだ話した事はないわ……でも私たちお友達になれるかも知れなくてよ」
182	隣家の窓　セーラ達に気づかず猿の頭をなでているラムダス		
183	セーラ　ベッキーを見て ベッキー驚いてセーラを見る にっこりと微笑むセーラ セーラ　ベッキーをうながして		セーラ　「よくて、ベッキー、インド語でご挨拶してみるのよ」 ベッキー「えッ、インド語でございますか」 セーラ　「ええ、ナマスカルって云うのよ」 ベッキー「なんの意味でございます?」 セーラ　「こんにちは、よ。さ、一緒にね」

	ラムダスの方を見て一緒に叫ぶ		セーラ「ナマスカル！」 ベッキー「ナマス……」
184	隣家の窓　ハッと見るラムダス 微笑し 優雅に叩頭するラムダス その時　猿　離れて手前へ来る		ラムダス「ハッ！」 ラムダス「ナマスカル！」
185	柵の上を飛びはねて逃げる猿		
186	驚くラムダス　後を追う		ラムダス「ハ、ハリジャン！」
187	手すりの端に止るハリジャン ラムダス　来て止る ジャンプするハリジャン ラムダス　ハリジャンのロープをつかもうとするが一瞬遅くつかめない		ラムダス「ハリジャン!!」
188	飛んでいくハリジャン　ロープをひいて——学院の屋根に手をかける		

189	屋根に飛びつく猿　ゆれているロープ　片手でつかまり見おろす猿		猿「キ……キーッ」
190	驚くセーラ　ベッキー		ベッキー「お嬢様！」
191	ハリジャン　ジャンプして屋根に登り手前で止り　見つめる		
192	振りかえる猿		ラムダス「ハリジャン！」
193	振り向きポンと飛ぶ猿		
194	二人の方へ　ギョッとなる二人		二人「キャーッ」
195	ベッキーの肩に乗ってキョロキョロ　肝をつぶして目をつぶって恐がるベッキー　愛想よくセーラを見る　ギョッとなるセーラ　ポンと飛んでout する猿		セーラ「キャッ」
A・C			
196	飛びこむ猿　ぐらぐらゆれる		

	二人		
197	猿　着地　キョロキョロする		
198	隣家の窓　驚くラムダス		ラムダス「ハリジャン!!」
199	セーラの部屋　ハリジャン キョロキョロ　窓にへたりしが みついているベッキー 猿　ハッ！とエミリーに気づ く　Fr・out　二人ギョッとする		セーラ　「エミリーが！」
200	ベッドの上のエミリーの所へ近 づき　抱きかかえる猿		
201	セーラ　ベッキー茫然 振り返り外を見る		ベッキー「お嬢様……」 ラムダス(off)「ハリジャン、ハリジャン」
202	隣家の天窓　心配気にラムダス 二人にたずねる		ラムダス「ハリジャンは？　いえ、猿は？」
203	セーラ　部屋を見定め　顔を戻 し		セーラ　「いま、私のお人形で遊んでいるわ…… 私につかまえられるかしら」

204	ラムダス　二人に説明する	ラムダス「いえ、その猿はとても素早しこいィタズラ者でして……お許しいただければ、私が……」
205	セーラたずねる ラムダス軽く答える	セーラ　「こちらへ渡ってこられて?」 ラムダス「ひととびです」 セーラ　「ではどうぞ」
206	ラムダス　窓外に身を乗り出し 飛び出す	
207	宙をとぶラムダス	
208	足　屋根に　すべる足 屋根の先端にいき雨どいにかかる　ゆれる足	
209	ぐらぐらゆれているラムダス	
210	はっとなる二人 ベッキーは目をつむり顔をそらす――　続いてセーラも目をつむる	二　人「はッ!」

211	ゆらゆらしていたが重心を前へ移すラムダス		
212	危機を脱するラムダス		
213	顔を上げてにっこりするラムダス		
214	二人　ほっとして顔を見合す T・B　ラムダス颯爽と屋根の上を行く		
215	現わるラムダス　中をのぞく にやりと笑う		ラムダス「フフッ」
216	エミリーと楽しそうに遊ぶ猿		猿「キキ……キキ……キ……!」
217	ラムダスと二人　見つめて笑い合う　手で下に降りるように合図するラムダス――二人　下に降りる		ラムダス・セーラ・ベッキー「フフフフフ……」
218	身体を窓の中に入れるラムダス		

A・C

No.	画面	備考	台詞
219	部屋の中へ身体を入れるラムダス　ひらりと身をおどらせる（ややスローモーション）格好よく手前に大きくなってくるラムダス　顔が画面に一杯になって——	A・C	
220	オドロクやら感心するやらの二人		二　人「ウワー」
221	床にスマートにおりるラムダス（Fr・in）		
222	エミリーと遊ぶ猿　はっとなって振り返る		
223	猿に手を差し出すラムダス　振り向く　ハリジャン　エミリーを放り出して逃げ出す		ラムダス「ハリジャン、さ、来るんだ」
224	椅子に飛びのるハリジャン　オドロク二人　窓のふちにつかまる　椅子　勢あまって倒れて		セーラ・ベッキー「キャッ!!」

No.	内容		台詞・音
	行く　猿　ひょいひょいと飛ぶようにして倒れる椅子の上を飛びうつっていく　椅子が落ちる		S・E（ドター、ガタン）
225	ギョとなって下を見るセーラ 猿　ピョンと机の上に乗りニャーと笑う　びっくりするセーラ 猿もおどろいて飛び去る		セーラ「ギャーッ!」 ハリジャン「キキッ……!」
226	にらんで身をのり出すラムダス		ラムダス「ハーッ!」
227	つづらのカゲに入りこむ キキいいながら登ってキョロキョロする猿		ラムダス(off)「ハリジャン!!」
228	近づいて腕を差し出すラムダス 猿　振り向いて　カリカリとつづらを手でかいてピョンと飛びおりる		
229	倒れた椅子の後ろからより登りのぞき見る猿　ひょいと身体を隠す		

230	しゃがんでのぞき見るラムダス ひょいと顔をのぞかせる猿—— ギロリと見るラムダス あわてて顔を引く猿　猿　振り 返りキョロキョロと見回して 飛び出す		
231	机の上でしがみつき合っている セーラとベッキー　目で猿を追 うラムダス　後を振り返るラム ダス		セーラ・ベッキー「うひゃ〜〜」
232	キャッキャッとふざけるハリジ ャン　立ち止まり見る		
233	ラムダス　その猿に近づき つかまえようとしたとたん スルリと抜けるハリジャン		ラムダス「やめ……静かに……するんだ、ハリ ジャン！」
234	降りるセーラ　ベッキーの方へ 向ってくるハリジャン　悲鳴を あげるベッキー　セーラ逃げる 飛び上るようにして回れ右して		セーラ・ベッキー「キャー！」

Shot	Picture	Sound	Dialogue
	走る猿		
234A	ハリジャン　暖炉の前に来て止る――暖炉の中をのぞいて振り返り見る		
234B	ラムダス　とび出す		ラムダス「あ、待て！」
234C	引縄の端をつかもうとするが一瞬の差で上へ消えるハリジャン		
234D	ラムダス　ハリジャンの引縄をつかみそこなう――上をのぞき見るラムダス　セーラの方に振り向いて セーラ　ラムダスに近寄り		ラムダス「お嬢さん、このお隣りに続きの部屋がありましょうか」 セーラ「ええ、ベッキーの部屋です」
234E	ベッキーの部屋　ダンロに尾が下る　一度引っ込むと顔が出てキョロキョロとのぞき見ると　ピョンととび下りる――す		

	すが落ちて　もうもうと黒い煙が立つ――白い猿が黒くなっている――身体を見てキャキャとして走りout		
234F	ベッキーの旅行カバンを引いておとす　いじくり廻す　ひっくり返したり　帽子の所に行きいじくり廻し　かぶって見る椅子にとびのり　ぴょんぴょんはねよろこぶハリジャン		ハリジャン「キ、キ、キ」 ハリジャン「キッ！　キ、キ」
235	院長室前の廊下　ミンチン扉開けて出て来て手前へ　ホールへ出て天井を見上げ　怪訝な表情で階段に昇る		S・E（物音が聞える、キィーガタガタ）
236	上を見上げてはっとなったり耳をすましたりする		ミンチン「ジェームス！　ジェームス！」
237	又　ミンチン　上を見上げる地下の方から走ってくるジェームス　ミンチンの方へ近づく		ジェームス「お呼びで、院長先生」

	上の方をのぞくように見る二人		
238	ミンチン　ジェームス 会釈するジェームス ミンチン　手前に来る out		ミンチン「シーザーが、またネズミを見つけて騒いでるようです。仕末して頂戴」 ジェームス「へい、承知しました」 S・E（キィー 〜 キー、ガサガサ）
239	ミンチン　院長室へ入る ジェームス　あたりを見まわしながら　ブツブツ言いながら登って行く 上をうかがい見ながら登って行くジェームス		ジェームス「全く……セーラとベッキーは、どこへ行っちまったんだろう」
240	三階廊下　寝ているシーザー 目を覚まし　うさんくさそうにあたりを見て目をつむる むっくりとおき上り振り返るシーザー		S・E（猿の奇声） 〜 S・E（猿の奇声）
241	尾を逆立ててうなるシーザー 前足をのばし背をたてて前に出て行く		シーザー「う……う……」

242	屋根裏への階段のあるドアに近づく　毛を逆立てて怒る 勢い良く前へ進む FOLLOW→		シーザー「うーう!」
	A・C		
243	シーザー　ドアにとびつきガリガリする		シーザー「ギャ……ギャ……」
244	ガリガリと扉をかくシーザー 跡がつく　猿の声が びっくりして　はっとなって後に退くシーザー		S・E（猿のなき声一段と高く）
	A・C		
245	「ドキッ」として一瞬ためらうが　又飛びかかる		S・E（キィキィ〜〜）
246	飛びつくシーザー ずるずると落ちる　又　激しくかき出す		〜〜〜〜〜〜
247	階段を上って来るジェームス 立ち止まって「アッ」となる		ジェームス「アーッ!!」

249	ジェームス　あわててとび出す	ジェームス「シーザー！〜 こいつめ、騒ぐんじゃない！」
250	ジェームス　シーザーに駈け寄る	
251	蹴とばすジェームス	
252	シーザー転倒し　起き上り 素飛んで逃げる　out する	
253	手前に逃げて来て階段を転がる ようにおりるシーザー　追って 来るジェームス	ジェームス「この、ろくでなしの猫め」
253	ベッキーの部屋　ドアの外 ベッキー達　様子を窺っている ベッキー　セーラを見て セーラ　あきれて	ハリジャン(off)（猿）「キ、キ……」 ベッキー「私のもので遊んでるみたいです」 セーラ「まあ……」
255	ベッキー　セーラ　告げる 目をむくセーラ ベッキー　明るく言う	ベッキー「私、そちらの部屋へ追い出してみます」 セーラ「大丈夫?!」 ベッキー「なあに、お猿と判れば怖くなんてな

	セーラ大きくうなづき セーラ　奥へ行く	いです！」 セーラ「じゃ、向う側でラムダスさんに捕えてもらうわ」
256	セーラを見送るベッキー 耳を扉にあてて中の様子をうかがう ベッキー　向き直り腕まくり いきなりドアをあけ	ベッキー「怖くなんかないですとも……」
257	ベッキーの部屋　とびこんでくるベッキー ※帽子ところどころ黒くなっている（猿も同じ） ハリジャン　びっくりしてふりむき　帽子を放り出し	
258	ダンロの中へ入っていくハリジャン ベッキーふりむき　大きな声で	ベッキー「行きましたァ！」
259	セーラの部屋　ダンロの前で待	

	ちうけているセーラ　ラムダス 二人ダンロをのぞく　ベッキー 入って来て　二人に近づき		
260	怪訝そうに見るラムダスとベッ キーも——耳をすましたり—— 層のぞきこんだりする　のぞい た二人　顔を見合せ「？」とし た顔になる		
261	屋根の上　煙突にT・U		
262	煙突から黒いすすが立ちのぼる ややおちつくと黒くなっている 猿があらわれる 猿　自分の身体を見て ハリジャン　顔や身体をたたく 散るすす　逆立して足をうって すすをおとし 下へおりる		猿 「キッキッキッ……キッ！」
263	セーラの部屋　ダンロを見てい るセーラ達		ハリジャン(off)「キ、キ、キ……」

	見る		
264	天窓　ハリジャン現われる 体をふるわせ　すすを落す		
265	ラムダス　前に出て		ラムダス「来るんだ！」
266	ハリジャン　ラムダスの方を見 て　ジャンプして手前へ来る		
267	手に飛び乗る猿　パッと散るス ス　ラムダス素早く引縄を掴み 抱いて頭をなでる ラムダスにしがみつく猿		
268	セーラとベッキー顔を見合せて ニッコリして ラムダス二人の前へ来る セーラ　首をふり		セーラ　「よかった……」 ラムダス「有難うございました、お嬢様」 セーラ　「とんでもありませんわ。お隣り同志 ですもの、ラムダスさん」
269	ラムダス　怪訝そうに		ラムダス「私の名をご存知で？」

270	微笑でうなづくセーラ		セーラ　「……私、ずっと前からお隣りに越してくる方とお友達になりたいと思ってたんです、よろしく」
271	ラムダス　ふり返り 一、二歩下がり優雅に一礼する （今度は猿をはなさず）		ラムダス「こちらこそ、突然お訪ねした事をお詫び申さねばなりません」
272	セーラ　あわてておじぎをする 真似してベッキーも		
273	ラムダス　顔を上げ		ラムダス「では、お嬢様、いずれあらためて」
274	ラムダス　セーラ　ベッキー		セーラ　「御病気の御主人様によろしくね」
275	ラムダス頷きにっこりとする		
276	振り返り上を見上げて身をしずめ ジャンプする		
277	窓めがけて飛び上るラムダス 身をひるがえして窓に乗るラム		

	ダス　にっこりとする		
278	感心して見る二人		二人「ワーッ!!」
279	ラムダス　格好よく窓から出て行く		
280	天窓から顔を出す二人		
281	隣家の屋根　とび移った振り返るラムダス		
	A・C		
282	ラムダス　手を振る ハリジャン真似をする		S・E（キキキ……）
283	手を振って応えるセーラ　ベッキー		〜〜〜
284	ラムダス　部屋に引き下がる 扉　閉める		
285	ぼう然と見ている二人　顔を見合す　にっこりするセーラ　ベ		

	ッキー　ベッキーうれしそうに セーラ照れて 二人　思わず笑う ハッ！として下を見る二人 振り返る	ベッキー「お嬢様、ステキな人がお隣りに見えましたですねえ」 セーラ「まあ、ベッキーたら……」 二人「フフフ……」 モーリー(off)「セーラ！　ベッキー！」
286	モーリーinしてきて二人を見て立止る　二人ぎょっとなる	二　人「ウワッ！」
287	モーリー唖然として二人に言ってきかす	モーリー「呆れた！……どこに行っちまったのかと思ったら、二人してこんな所で…」
290	セーラ　ベッキー　緊張したままで聞いている	モーリー(off)「さあ、夕食の仕度だよ、来ておくれ！」 セーラ「はい、モーリーさん……」
291	モーリー　フンと出て行く	モーリー「フン！」
292	顔を見合せ　首をすくめるセーラ　ベッキー O・L	セーラ・ベッキー「フフッ」

293	夜のクリスフォード宅　一階の 部屋のみ明るい		セーラⓂ「その夜、私は、お隣りの御主人や、 ラムダスさんの事を、お父様に報告し ま　～
	O・L		
294	セーラの部屋（夜） 机の前のセーラ		した」
	O・L		
295	写真		セーラN「そうよ、お父様……あの方たち、イ ンドにいらしたのよ……」
296	セーラ　UPにT・Uする F・O		セーラN「今に仲良しになって、きっとインド のお話しをきくつもりよ、お父さま…」

〈END〉